



NIHON UNIVERSITY School of Dentistry at Matsudo

# 日本大学松戸歯学部

GUIDE BOOK 2025



## 日本大学松戸歯学部

〒271-8587 千葉県松戸市栄町西2-870-1  
TEL 047-368-6111(代表) FAX 047-364-6295

日本大学松戸歯学部  
<https://www.mascat.nihon-u.ac.jp>



# 人の一生を支える学問

歯の治療だけが、歯科医師の役割ではありません。

口から人の一生を支えること。

これが、わたしたちの志です。

食事をし、言葉をかわし、表情がうまれる。

人と人との関わり生きていくうえで、

口が担う役割の大きさを常にかけてきました。

「口腔の健康が全身の健康につながる」

この考えは、歯科医学を口腔科学として捉える

開設当初からの先駆的概念でもあります。

ときを重ねても多くの人が笑顔でいられるよう、

知識を深め、技術を磨き、真摯に向き合っていく。

松戸歯学部で見つけてほしいのは、

人の幸せを支える歯科医師の姿勢です。

## ORAL SCIENCE

### 松戸歯学部の教育ビジョン

歯科医師の役割は虫歯を治療するだけではなく、  
口腔の健康を通じて全身の健康を支えるために、ますます重要となってきます。  
松戸歯学部は歯科医学を「オーラルサイエンス(口腔科学)」と捉え、  
医学の一分科としての教育を行っています。



## ● 学部長メッセージ

### 時代は変化している!

松戸歯学部は2024年4月から新校舎の運用が開始され、新たなステージに歩みを進め始めました。開設以来半世紀の時を経て、時代は大きく変化しました。代表的なもののひとつとして国民の年齢構成の変化が挙げられます。超高齢社会を迎えた我が国は今後、更に急速に高齢化が進みます。それ故、在宅訪問診療の重要性・必要性は増していくものと推察されます。本学部は都心部に立地しながら、近隣には3世代が暮らすご家庭も相当数あります。このような環境や社会的背景を鑑み、本学部は教育と診療において在宅訪問に力点を置く方針です。「松戸歯学部卒業生あるいは付属病院で研鑽を積んだ歯科医師は在宅医療の能力が優れている」と、評価される人材の輩出に注力いたします。

また「時代の変化」に対応する人材育成の観点に立つと、急速に変化する現代社会においては「変化対応力」を持つ人材が求められます。進化論で有名なダーウィンは「最後に生き残るのは、最も強いものでも最も賢いものでもなく、最も変化に対応できる者」と言っているように環境に適応する能力、すなわち「変化対応力」を獲得することは最重要課題と考えます。この対応力を身に付けることにより、様々な副次的な効果があると考えます。一例として学習や歯科医療においても、予期せぬ出来事は必ず発生するでしょう。その時に柔軟に対応できる能力を持っていることで危機管理が可能となります。本学部は物事に柔軟に対応し「変化対応力」をもつ人材育成を方針といたします。

ふくもと まさひこ  
福本 雅彦

日本大学松戸歯学部 学部長  
日本大学教授(有病者歯科検査医学)



## ● 沿革

1971	●日本大学総長 鈴木勝の構想により、 日本大学松戸歯科大学開学 ●初代学長に鈴木勝就任 ●付属歯科病院開設	1989	●日本大学創立100周年記念 松戸歯学部国際シンポジウム開催
1973	●体育館竣工	1991	●創設20周年記念式典・祝賀会
1974	●附属歯科衛生専門学校開校 ●口腔科学研究所設置	1995	●MASCAT(学内LAN)センター設置
1975	●学術雑誌「日大口腔科学」創刊	1998	●マルチメディア歯科教育システム導入 ●松戸歯学部後援会発足
1976	●日本大学松戸歯学部と改称 ●動物実験研究センター・アイトープ研究センター 竣工	2001	●創設30周年記念式典・祝賀会
1977	●大学院松戸歯学研究科設置	2006	●新病院棟竣工、日本大学松戸歯学部付属病院と改称
1982	●組換えDNA実験施設設置(第4共同研究室内)	2011	●創設40周年記念式典・特別講演会
		2021	●創設50周年
		2024	●新校舎竣工

## ● 日本大学教育憲章

日本大学は、本学の「目的及び使命」を理解し、本学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、「日本大学マインド」を有する者を育成する。

### 日本大学の理念(目的および使命)

日本大学は日本精神にもとづき  
道統をたつとび 憲章にしたがい  
自主創造の気風をやしない  
文化の進展をはかり  
世界の平和と人類の福祉とに  
寄与することを目的とする

日本大学は 広く知識を世界にもとめて  
深遠な学術を研究し  
心身ともに健全な文化人を  
育成することを使命とする

### 日本大学マインド

- 日本の特質を理解し伝える力
- 多様な価値を受容し、自己の立場・役割を認識する力
- 社会に貢献する姿勢

### 「自主創造」の3つの構成要素及びその能力

自ら学ぶ	●豊かな知識・教養に基づく高い倫理観 ●世界の現状を理解し、説明する力
自ら考える	●論理的・批判的思考力 ●問題発見・解決力
自ら道をひらく	●挑戦力 ●コミュニケーション力 ●リーダーシップ・協働力 ●省察力

## ● 松戸歯学部教育方針

### 教育研究上の目的

#### 理念

口腔の健康は全身の健康を支えるという考えを基盤とし、それを具現化した「オーラルサイエンス(口腔科学)」の学びを礎に、自主創造の能力を養い、豊かな知識と教養に基づく高い倫理観を持ち、論理的かつ批判的思考を用いた問題解決力と省察力を有し、歯科医療と歯科保健を通して生涯にわたり社会に貢献できる人材を育成する。

#### 目標

口腔と全身の健康維持・増進に寄与するために、社会の多様なニーズに対応できる高い職業倫理を備え、あらゆる職種と協働し、地域医療と地域保健に貢献できる歯科医師を育成する。

#### 研究指導の方針

教員の指導の下に、歯科医学の発展のために積極的に研究活動に参加し、その成果を国内外の学会へ公表することを通じて、研究力を高め、さらに国際人としてのグローバルセンスを養う。

### 3つのポリシー

#### ディプロマ・ポリシー (学位授与の方針)

松戸歯学部は、日本大学の教育理念である「自主創造」を構成する「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を身につけ、松戸歯学部の教育理念に基づいた各分野の授業科目をすべて修得し、8つの能力を修得するために設定された卒業要件を満たした者に学士(歯学)の学位を授与する。

#### カリキュラム・ポリシー (教育課程編成・実施の方針)

松戸歯学部(学士(歯学))では、日本大学教育憲章(以下、「憲章」という)を基に、学位授与の方針に沿って、教育課程の編成を実施する。  
憲章に基づく学位授与の方針における8つの能力(コンピテンシー)を養成するための初年次教育、教養教育、専門教育等について、一般教養、医療行動科学、基礎歯科医学、社会歯科医学、臨床歯科医学、総合医学の各領域で構成される科目を横断的かつ体系的に位置付けて、総合歯科医学領域と臨床実習領域でそれらを統合する教育課程を編成する。また、講義、演習、実験、実習の授業形態を適切に組み合わせた科目を開設し実施する。  
学修成果の評価については、各授業科目の専門的な知識・技能及び態度の能力の修得を適切に評価する多元的な評価方法により各授業科目のシラバスに明示される学修到達目標の達成度について判定し、憲章に沿った能力の修得については、卒業の達成を測るための授業科目等により総合的に行う。

#### アドミッション・ポリシー (入学者受入れの方針)

松戸歯学部の教育理念・目標に合致した人を選抜するために、基礎的学力、論理的思考力やコミュニケーション能力などに関する試験を実施し、医療人としての資質を総合的に評価し、知識・能力・意欲及び態度を有する者を受け入れる。

\*詳細はこちらを  
ご参照ください。

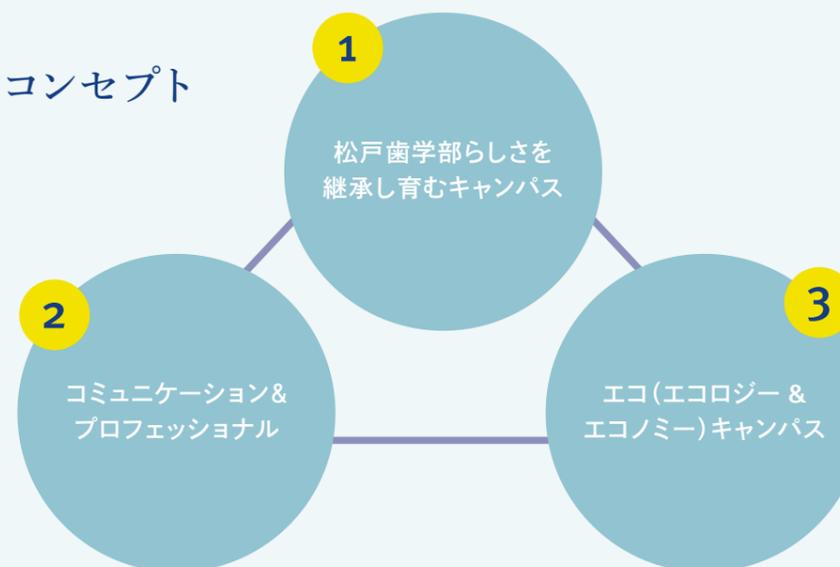


# 50周年記念棟運用開始

2024(令和6)年4月, 新校舎「50周年記念棟」の運用を開始しました。  
新しい校舎には教育・研究・管理の場としての中核を担う機能を集約します。  
特にラーニング・コモンズは能動的な学修環境の中心として機能し,  
記念講堂は, 式典や学会などに幅広く利用できます。



## ● 新校舎コンセプト



# 松戸歯学部 3つの特長

## POINT 1 付属病院と連携した実践的な臨床実習

指導医、患者さん、医療スタッフと関わりながら診療に参加します。付属病院での実習を通じて、知識・技術だけでなく、柔軟なコミュニケーションスキルを身に付けることができます。実習の舞台となる付属病院は、歯科大学付属病院として電子カルテを国内初導入し、様々な最新検査機器を備え、複雑化・多様化する医療ニーズに対応したスキルを身に付け即戦力となる歯科医師を養成します。

### 全国でも来院患者数 トップクラスの付属病院

来院患者数年間21万人以上、1日約720人、年間入院患者数延べ約2,400人。全国の歯学部付属病院でもトップクラスの来院患者数を有する付属病院では、患者さんのご協力により豊富な臨床経験を積むことができます。また約70人の歯科医師臨床研修医の受け入れ体制を整えています。

### 患者さんを中心とした 機能的な医療環境

地上4階、地下1階の付属病院棟には、歯科治療用ユニット183台、ベッド数31床を備えています。パティオを中心に22診療科(歯科18科、医科4科)を機能的に配置し、患者さんを中心とした構造になっています。また、歯科用CBCT、医科用MDCT、MRIなどを有するなど、充実した医療環境を整えています。

### 地域歯科医療の 中核を担う付属病院

付属病院は、臨床実習の場であると同時に地域歯科医療の中核を担い、口腔の健康は全身の健康を支える「オーラルサイエンス(口腔科学)」の理念のもと、新たな歯科医療の分野に挑戦を続けています。最新の設備で高度な医療を提供する一方、地域に根ざした取り組みを積極的に行っています。

## POINT 2 「医療行動科学」でプロ意識を修得

カリキュラムポリシーにうたわれている「対人関係能力や医療人としての人格を備えた全人的な歯科医師を養成」の観点から、1～4年次にわたり「医療行動科学1～4」を設置しています。患者さんの声に耳を傾け、その思いをくみ取って適切な説明・治療ができるよう、講義や実習を通して患者心理の理解を深め、プロフェッショナリズムを修得します。



## POINT 3 教職員が一丸となったきめ細やかな学修支援

1年次から4年次までに配置された学修サポート委員と学年担任が、学生や保証人との面談を定期的に行い、成績の状況に応じて学修方法や弱点補強のための工夫などのアドバイスを学生一人ひとりに行います。また、5年次では臨床実習への対応、6年次では歯科医師国家試験のために、それぞれ10～12名程度の班に2～3名の教員を配置し、臨床実習へのアドバイスや歯科医師国家試験に向けての助言など、きめ細やかな学修支援を行います。



### 付属病院の診療科紹介

#### ■診療部門

##### 【歯科】

放射線科 / 臨床検査科 / 病理診断科 / 総合歯科診療科 / 歯科疾患管理科 / 口腔機能維持管理科 / 健康増進歯科 / 医療連携科 / 保存科 / 補綴科 / 歯周科 / 小児歯科 / 矯正歯科 / 特殊歯科 / 口腔外科 / 麻酔・全身管理科 / 口腔インプラント科 / 顎関節・咬合科

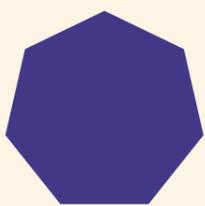
##### 【医科】

内科 / 脳神経外科 / 頭頸部外科・耳鼻咽喉科 / 心臓血管外科



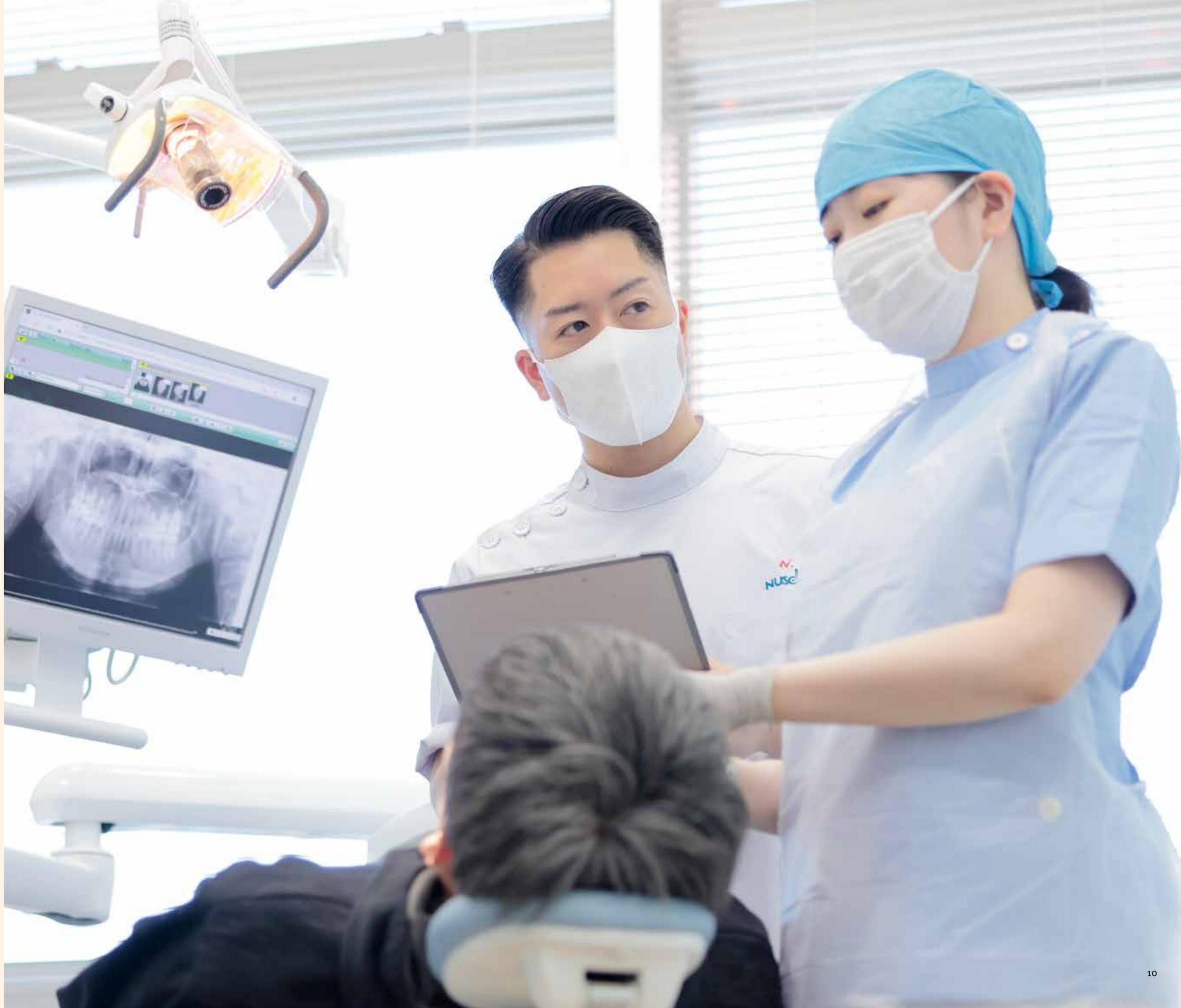
\*詳細はこちらをご参照ください。





# 松戸歯学部 の学び

STUDY



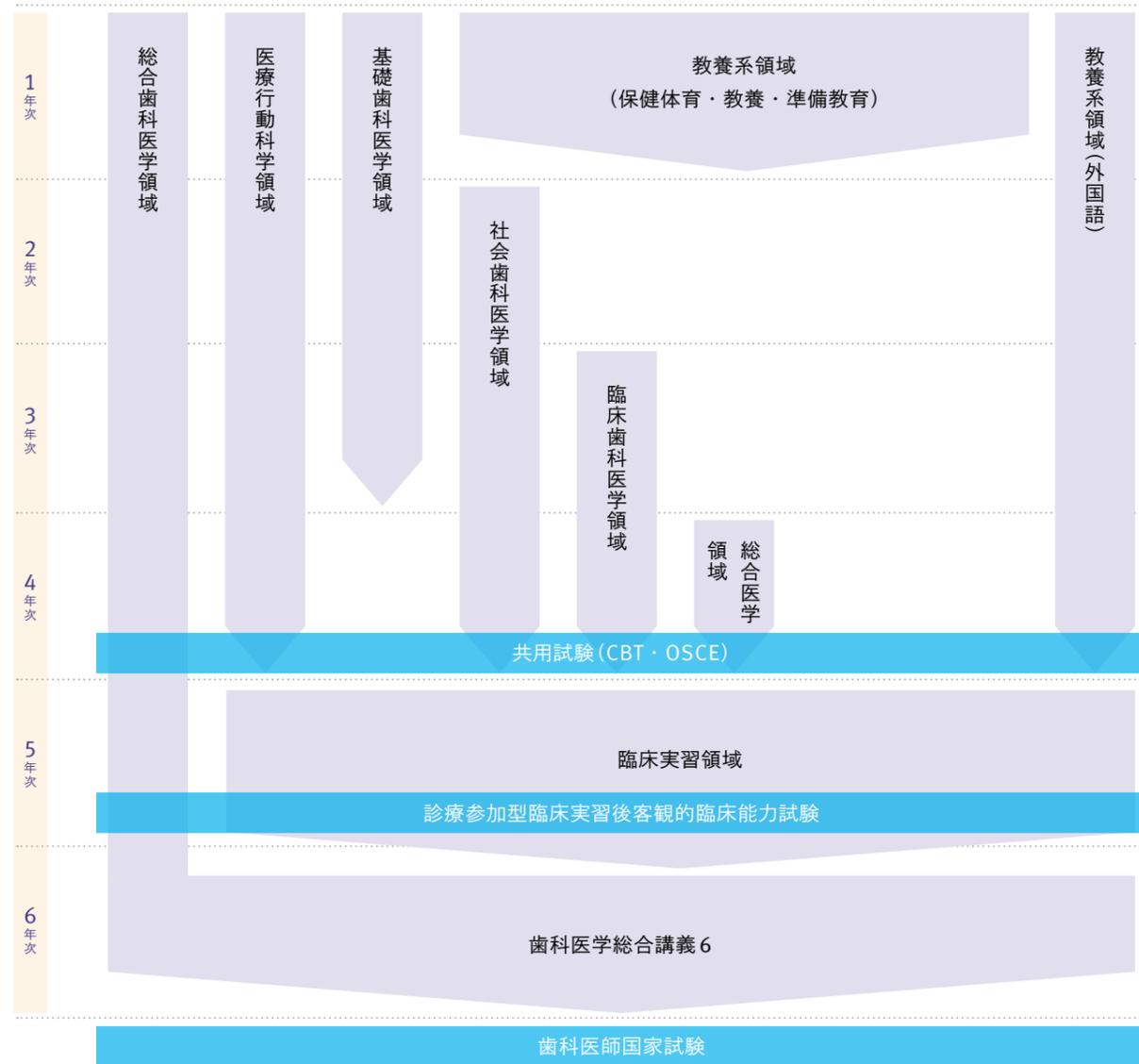
# 6年間のカリキュラム

## 全人的な歯科医師を養成する教育システム

基礎歯科医学と基礎医学の「学問体系別講義」と、1つのテーマに様々な専門分野の教員がアプローチする「統合型講義」を連携させた総合的な教育体制を敷いています。また、各学年で段階的に知識や技術を修得できる「歯科医学総合講義」を設置し、一人ひとりの学修到達度を確認しながら効率的に学修を進めることができる独自の「歯科医学教育システム」を確立しています。



\*詳細はこちらをご参照ください。



## ● 歯科医師国家試験サポート

### 国家試験対策委員会・学修サポート委員会

担当教員が適切な勉強方法の相談など、さまざまなサポートを行います。1～6年次クラス担任・国家試験対策委員・学修サポート委員会を中心に面談を実施し学修支援を行っています。

### 歯科医学総合講義5

5年次に行われる、臨床実習の前に毎朝行われる講義です。症例の問題解決力を養い、国家試験に対応できる知識を修得します。

### 歯科医学総合講義6

6年間の歯学部教育を総括するまとめ講義です。歯科医師国家試験を徹底的に分析した試験も行います。

第117回  
(2023年度)  
**120名**  
(全国歯科大学中2位)

歯科医師国家試験合格者数(総数)



## 「共用試験(CBT・OSCE)」とは

「共用試験」は、実際に患者さんと接する際に必要な知識・態度・技能を身に付けているかを判断する試験で、臨床実習前の学修のまとめとして実施されます。コンピュータを用いて知識・問題解決能力を評価するCBTと、態度・診察技能を評価する客観的臨床能力試験OSCEがあり、この試験に合格すると5年次に進級し、臨床実習に進むことができます。

## 「診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験」とは

「診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(PCC-PX)」は、臨床実地試験(CPX)と一斉技能試験(CSX)から成り、臨床実習を通して総合的な臨床能力が身に付いているかを判断する共用試験です。

## 各領域概要

### 教養系領域(保健体育・教養・外国語・準備教育)

歯科医師には専門知識・技術だけでなく、幅広い教養も必要という観点から、充実した教養科目群を設けています。日本大学全学共通教育科目「自主創造の基礎」「日本を考える」では、大学での学びやこれからの生き方において必要な日本大学教育憲章に示す基礎的素養を学生個々が身に付けることを主眼としています。また、実社会との関連から教養を学ぶ意義への理解や自身の専門分野を学ぶ意識を高め、以後受講する科目等の成果の充実に寄与するものとなります。準備教育科目の「物理学」「生命科学」「数学」においては、基礎歯科医学との関連性を重視した学修指導を行っています。

### 総合歯科医学領域

複数の異なる専門分野の教員が1つのテーマにアプローチする統合型講義を展開し、各学年で修得すべき知識・技術を確立しながら、全人的歯科医師を養成することを目的としています。

### 医療行動科学領域

歯科医師としての専門的能力を修得するための知識・技能を1年次から4年次まで一貫して学修します。授業は統合型講義で行われ、知識の修得と学内外での体験学修により、医療人としての資質・人格を段階的に形成していきます。

### 基礎歯科医学領域

歯科医師になるためには、人体の構造とその詳細、各部分の機能を十分に理解する必要があります。さらに、病気の原因や治療に用いる薬の作用なども十分に理解しておく必要があります。

ます。このような医学にとって基本的な知識は基礎医学とよばれており、専門的には解剖学、組織・発生学、生理学、生化学、薬理学、微生物・免疫学、病理学などの分野に分かれています。これらの学科目を系統的に学修することで、実際の歯科治療の知識・技術修得へ向けての基礎知識を身に付けます。

### 臨床歯科医学領域・社会歯科医学領域

人体についての医学的知識をもとに、歯科治療はどうあるべきかという理論と具体的な治療法について学びを深めます。歯の硬組織や周辺組織に関する疾患や、その欠損と障害、口腔顎顔面領域の軟組織や硬組織に発生する疾患や障害など、様々な症例と治療法を学ぶことで歯科医療対応を修得します。また、歯科医療の社会における役割と公衆衛生への関与を学び、科学論文の理解に必要な医療統計学の基礎を学修します。さらに講義と実習を組み合わせることで、臨床実習にあたっての、医学・歯科医学の知識と歯科医療の実践との双方を併せ持つ能力を身に付けます。

### 総合医学領域

臨床実習前に、内科学・外科学などを主体にした医学分野を横断的かつ複合的に学び、「オーラルサイエンス(口腔科学)」を実践するための知識・技術を統合型講義で身に付けます。

### 臨床実習領域

担当医の指導を受けながら、1年間をかけて医療現場の実務を修得します。患者さんと接することで、技術だけにとどまらず、歯科医師としての態度、職業意識を身に付けます。

学生教育の質を高める「教育・学修総合センター」

松戸歯学部では「教育・学修総合センター」を設置し、学修を支援する教育システムを構築しています。収集した成績等のデータに基づいて作成した教材を学生に提供し、苦手分野の克服を目指しています。また、全ての試験成績に基づいて分析したデータを学生にフィードバックすることで、学びを確実に進めるためのサポートを行っています。

## ● 海外留学制度

### ケンブリッジ大学ペンブルック・カレッジ(サマースクール)

日本大学は英国ケンブリッジ大学で長期にわたり、3週間のサマースクールを実施しています。研修期間中は、日本大学と共同出資で建設した学寮に滞在しながら、カレッジ生活を体験します。

### 日本大学大学院海外派遣奨学生

大学院学生を海外に派遣することにより、研究者の育成及び国際交流の進展を図り、本学の発展に資することを目的としています。

### エリザベスタウン・カレッジ

英語運用能力のレベルアップを目的としたプログラムで、エリザベスタウン・カレッジ内の寮に滞在し学びます。米国の生活・文化を体験するため、ニューヨーク、ワシントンD.C.といった都市へのフィールドトリップも企画される予定です。



基礎的な歯科医学を総合的・複合的に学ぶ  
幅広い教養の知識と



真田 理菜さん

入学して2年が経ち、歯学部生としての生活にも慣れてきました。1年次では、基礎科目を中心に保健体育や自主創造の基礎など様々な科目を学修します。加えて、歯の解剖学という次年度以降の臨床系の履修科目に繋がる科目もあります。この科目では、座学だけでなく、カービング(歯型彫刻)などの実習を行うため、歯学部生ならではの授業を履修することができました。2年次では、履修科目がガラッと変わります。臨床の現場にダイレクトに関わる専門知識を蓄えるための科目を履修し、すぐに実習でその知識を実践します。特に、解剖学では実際に人体

の構造を修得し、命の尊さを学ぶ貴重な機会となります。他にも、微生物学や組織学といった小さな世界の学問や、生理学や免疫学といった人体に関わる学問など、国家試験合格のために必要不可欠な知識の修得に日々努めました。2年次は、1年次と比べるとハードですが、日々支え合い学びを共にする同級生との絆が深まった1年となりました。令和6年度からは校舎が新しくなりました。新しい環境で学べる喜びを感じつつ、素晴らしい歯科医師として社会に貢献できるよう、更に勉学に励んでいきたいと思っています。

学びの特色

POINT 1

自主創造の基礎



学生一人ひとりが「将来目標を設定する意識付け」「学ぶ目的の意識付け」ができるような「自主創造型パーソン」の育成を目指した初年次教育科目が設置されています。1年次では「自主性」と「創造性」への導入を目指す「自主創造の基礎」を展開。松戸歯学部で求められる学修技法や将来に繋がる学修のあり方について学びます。

POINT 2

医療行動科学

[1・2年次]  
統合型講義と体験学修により知識の修得だけでなく、社会から求められる医療人としての資質・人格を形成していきます。  
[3年次：患者－医療関係学／医療人間学]  
患者さんと医療者のあるべき関係や、自らが取るべき行動指針について学修します。  
[4年次：医療面接・歯科臨床診断学／医療コミュニケーション学]  
最適な医療を行うために必要な診断までのプロセスや、患者さんとの信頼関係を築くための医療コミュニケーションについて学修します。



2年次後学期の時間割

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri
1	歯科医学総合講義2	薬理学1	歯科医学総合講義2	歯科材料学1	衛生・公衆衛生学
2	医療行動科学2	歯科材料学1	英語2	歯科材料学1	微生物・免疫学
3	解剖学	解剖学	組織・発生学	生理学	微生物・免疫学
4	解剖学	解剖学	組織・発生学	生理学	オフィスアワー

(令和6年度参考)

教員メッセージ

病変が語る物語を紐解き真理を探ろう

本学部では3年次に病理学と口腔病理学の講義と実習があります。これらの授業は、皆さんが歯科医師になった後、患者さんの口腔の健康を支えるうえで欠かせない基礎知識を学ぶ大切な時間です。疾患の基本的な概念や病理組織の観察を通じて、その病因や特徴を理解することは、臨床で口腔疾患の予防・診断・治療に役立ち、ひいては患者さんの全身の健康の維持にもつながります。実習では、多数の病理組織標本

や症例写真を用いて具体的な病変の特徴を学びます。日本大学では学生の皆さんが主体的に学び、考え、未知の領域に踏み出す力を育むことを目指しています。この講義・実習は皆さんが自立した歯科医学の学修を実践できるようになるための良い機会です。意欲的に臨むことで、生命の営みと疾患への理解が深まり、患者さんの健康を全体的に支えるための見識と技術が修得できます。



専任講師・末光 正昌  
[病理学]

付属病院での臨床実習  
全国トップクラスの来院患者数を誇る



坂下 弘起さん

5年次では松戸歯学部附属病院にて臨床実習が始まり、実際に多くの患者さんと接し歯科医師として必要な知識や臨床能力を養うことができます。各診療科で一定期間の実習を行うことができるため専門的な知識を得るには素晴らしい環境です。4年次までは座学が中心であり知識をインプットすることがメインでしたが、臨床実習では学修してきたことを実践的にアウトプットすることができ、歯科医師として必要なスキルを育むこと

ができました。また、5年次は臨床実習が中心になるので、図書館等を利用するなど空いている時間などを有効に使い、座学の勉強やテストへ向けての勉強をします。松戸歯学部の魅力は先生と学生の距離が近く、疑問点や聞きたいことなどがあればすぐに教えてもらうことができることです。そのため分からないまま終わってしまうということがなく、最大限に知識を得ることができます。

学びの特色

POINT 1

診療参加型臨床実習(SD診療)

付属病院を受診する患者さんの治療に参加し、歯科医療の実践力を培います。指導医のもとで、初診時医療面接と応急処置、診査・検査・情報収集と分析、総合的治療計画の立案、患者さんへの説明まで学生が行います。さらに、指導医の指示を仰ぎながら実際に患者さんの治療を担当し、患者さんとの良好な関係構築のためのコミュニケーション能力と診察技能を高めます。



POINT 2

課題別臨床実習



6年次に実施され、各診療科で参加型臨床実習を行いながら、新5年次生に基本的臨床能力を指導することで自身の知識・技能・態度を見直し、より専門的な知識・技能・態度を統合的に修得します。

POINT 3

歯科医学総合講義6



診断・治療・予防までの一貫した診療を実践できる歯科医師を目指して講義を行い、歯科医師国家試験の合格に向けて6年次までに履修した知識・技術を集約します。

教員メッセージ

歯科医師を目指す学生を全力でサポートします

5年次では付属病院での臨床実習が始まります。ローテーションで各診療科に配属され診療に参加していきます。見学や介補だけでなく、担当患者の診療では自ら治療計画を立て実際に治療を行います。知識や技能とともにコミュニケーション能力も求められ、臨床実習を通して医療人としての自覚が芽生えていきます。6年次になると歯科医学総合講義6が始まります。松戸歯学部では歯科医師国家試験の傾向を分析し、

国家試験対策となる講義を行います。定期的な面談もあり、いつでも先生方に質問や相談ができます。また、放課後も使用できる学修スペースがあり、勉強に集中できる環境が整っています。6年間の学生生活の中で皆さんには将来どんな歯科医師になりたいか思い描き、夢を持って学んでいただけたらと思います。私たちはその夢を実現できるよう全力でサポートしていきます。



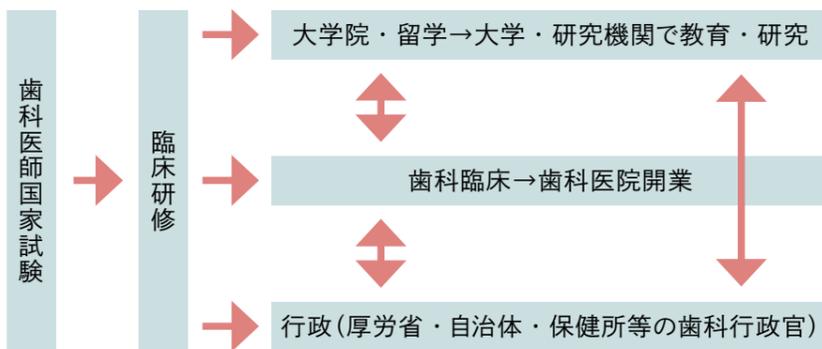
助教・石井 かおり  
[歯科矯正学]

# 卒業後の進路

## キャリアパスについて

歯科医師国家試験を突破し、歯科医師になると病院や個人開業医に就職するほか、より高いレベルの知識、技術を身に付けるために大学院に進学、もしくは研究生への進路も選択できます。

また、就職については就職希望者の数を大きく上回る約700件弱の求人があり、医療の最前線で活躍できるさまざまな道が拓かれています。



## 大学院 松戸歯学研究科

最先端の機器が充実した環境で  
追究したい専門領域を深く掘り下げる

日本大学大学院松戸歯学研究科は昭和52年に設置されました。現在、発育発達全身疾患学系、口腔病態制御学系、組織細胞再生学系、先端材料修復学系、口腔顎顔面再建学系、病態診断検査学系の6つの学系のもとに23の専攻学科目があります。大学院には科学する能力をもった臨床医を育てること、未来の歯科医学を担う教育・研究指導者を育てる目的があり、様々な最先端の機器が充実した研究に最適な環境で、追究したい専門領域を深く掘り下げ、さらに専門性を高めることができます。



\*詳細はこちらをご参照ください。



## 活躍する卒業生

### MESSAGE 豊かな人間関係に恵まれて

私は2005年に日本大学松戸歯学部を卒業し、その後、日本大学大学院松戸歯学研究科に進学しました。2009年に大学院を修了後、「唾液分泌メカニズムの解明」という研究テーマを深く掘り下げるため、3つの大学で教員の経験を積み、現在に至ります。母校を離れても研究が続けられたのは、松戸歯学部で出会った多くの人々のサポートのおかげです。恩師からは「歯学はサイエンスだ」という言葉を貰い、研究に取り組む指針となりました。全国に散らばる同窓の先輩方

は、異動・引越の度に温かく迎えてくれました。同期の友人達はいつも励まし、キャリアの判断に迷った私の背中を押してくれました。後輩たちの前では、自分を少しでも大きく見せるために背伸びをしたこともありましたが、結果としてそれは自身の成長のきっかけとなりました。歯科医師を志す方々には、かけがえのない学生生活を、松戸歯学部のような豊かな人間関係の中で過ごすことをお勧めします。それが長い歯科医師としての人生をより良いものにするに信じています。



佐藤 慶太郎  
朝日大学歯学部  
歯科薬理学分野・教授

### MESSAGE DX化で国民の健康を支える最新歯科医療を創り出す

将来どんな仕事をしよう……と具体的にイメージできますか?私は、自分自身が歯科医師として社会で仕事をしている姿が強く想像できたので歯学部を目指しました。卒業して10年経過後、地元にて歯科医院を開業。予防歯科や審美歯科に注力した診療スタイルで、人々の健康に貢献して行きたいと考えています。健康を目指し診療に取り組む日々は試行錯誤が必要ですが、とてもやりがいがあります。歯科医師としての国家資格があるからこそ、自分の目指す歯科医療の形を自分の医院で実現すること

ができ、またそれに共感してくれるスタッフと共に診療ができ、毎日とても楽しく充実しています。いま、医療はデジタル化とともに飛躍的に進化し、今後はDX, VXなど先進技術の導入が加速していきます。医療機器のデジタル化だけでなく、AIやロボットの活用が歯科医院においても当たり前になり、それを実現するべく当院でも様々なDX, VXに取り組んでいます。次の若い世代が活躍できる未来の医療の現場を目指し、ぜひ多くのことを学んで欲しいと願っています。



浜野 亜紀子  
きらり歯科クリニック津田沼  
院長



# 松戸歯学部 の学生生活

UNIVERSITY OF  
DENTISTRY



# 施設紹介

キャンパス中央に配置された新校舎には50周年記念講堂をはじめ、実習室、大教室など、主要な施設が機能的に配置されています。中でもラーニング・コモンズは、図書館機能を含む学修環境の中心としての利用が期待されています。また、学生食堂や体育館、グラウンドなども備え、のびのびと学修に打ち込める環境が整っています。

## ■ 50周年記念講堂



合計300名が収容できる大講堂です。開講式などの式典のほか、学会の開催等を想定し多目的に使用できます。

## ■ 第1～4実習室



教養・基礎歯科医学・専門歯科医学分野の授業を幅広く安全に学べるよう、それぞれの実習室に特化したさまざまな設備が完備されています。例えば、iPadなどの情報機器を活用した授業にも対応しています。

## ■ 図書館



所蔵資料は、歯学関係書籍を中心に約3万5千冊で、医学・薬学を含む隣接領域の専門書も幅広くカバーしています。開館時間は、9:00～21:00（平日）で、利用者が資料を直接手に取れる開架システムを採用しています。

## ■ 臨床実習室



計18台の歯科ユニットが設置され、臨床を想定した実習ができる教室となっています。なるべく歯科医療の現場に近い環境を学生に提供することで、即戦力となる歯科医師を養成します。

## ■ 学生自習室



iPadなどの情報機器を使用する学修に対応したコンセント付きの机を151台設置した自習スペースです。利用可能時間は9:00～21:00で、毎日、多くの学生が利用しています。

## ■ 大教室



各学年ごとに専用の教室が整備されており、学年全員で受講する必修授業はこれらの教室を使用しています。

## ■ ラーニング・コモンズ



図書館に隣接する自習スペースであり、個人の自習に使用することはもちろん、グループでの学修をすることも可能です。仲間同士で知識を共有するような、相互に学び合う環境を提供しています。

## ■ 学生食堂



学生や教職員、研修医など学内関係者が自由に利用でき、クラブのミーティングや学修する場としても利用されています。

## ■ 体育館



バスケットボールコート2面を確保でき、冷暖房設備があります。その他に各種道場、トレーニングルーム及びシャワー室を備えています。

# キャンパスカレンダー

本学部の学事日程には学修の場としての様々な行事に加え、学部祭(松戸祭)やレクリエーション大会、全日本歯科学学生総合体育大会への参加など、学生生活をより充実させるイベントも行われています。ともに学ぶ仲間とふれあい、先輩や先生方など多くの人との関わりを持つことで、「コミュニケーション力」、「リーダーシップ・協働力」を備えた歯科医師の養成を目指しています。



## 春

- 日本大学入学式/学部開講式
- 登院式・戴衣式(5年次)
- ガイダンス
- 新入生オリエンテーション
- 定期健康診断
- 後援会総会
- 松戸歯学部創設記念日(5/20)
- 消防・防災訓練
- リーダースキャンプ
- オープンキャンパス
- レクリエーション大会
- 大学院開講式
- 実験動物慰霊祭
- 学外研修(5年次)

## 夏

- 特待生・各種奨学生 証書等授与式
- オープンキャンパス
- 夏季休業
- 全日本歯科学学生総合体育大会(歯学部：夏期部門)

## 秋

- 口腔科学会学術大会・総会
- 後学期授業開始
- 日本大学創立記念日(10/4)
- 学部祭(松戸祭)
- 市民大学講座
- オープンキャンパス
- 解剖体追悼法要
- 消防・防災訓練

## 冬

- 全日本歯科学学生総合体育大会(歯学部：冬期部門)
- 冬季休業
- 歯科医師国家試験
- 共用試験 CBT, OSCE(4年次)
- 診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験(5年次)
- 日本大学卒業式/学位記伝達式
- 歯科医師国家試験合格発表

※各種行事は、変更・中止となる場合があります。

## 学生インタビュー

### 松戸歯学部の「学生会」

松戸歯学部では、高校までのいわゆる「生徒会」という組織が、「学生会」という名前で組織されています。学生会での活動は、学部生の大学生活のサポートをはじめ、学部レクリエーションの企画、文化祭の設営といった内容の他、他大学交流や全学FD活動(教育改善に向けた全学的な取り組み)のスタッフといった、少し規模の大きい活動まで、幅広く行っています。大学での学部行事のスケールは非常に大きく、特に文化祭(松戸祭)では、ともに運営する学生の数が、想像以上に大規模です。こういった学生会

での活動により、多くの先生方や友人と関わる機会が増えただけでなく、ヒューマンスキルなど、勉学に励む日々だけでは得られなかった社会性や管理能力、責任感といったものを得ることができたと感じています。授業だけにとらわれず多くの学生・教職員と関わりを持ってみたい、また、大学らしい規模感の活動をしてみたいといった方は、ぜひ学生会を覗いてみてください。

令和5年度 松戸歯学部 学生会会長 梅村 匡さん

# クラブ活動

本学部のモットーは文武両道。国家試験合格を目指すかわら、多くの学生が同じ趣味や目的を持つ仲間と、クラブ活動にも精力的に汗を流しています。本学部には夜間照明付きグラウンド、体育館、テニスコート等が完備されており、サポート体制は万全です。このクラブ活動で得た学年を超えた「仲間」との絆は、在学中はもちろんのこと、卒業してからも生涯の友として貴重な財産となります。



## 体育クラブ

- 合気道部
- アメリカンフットボール部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- 硬式野球部
- 硬式庭球部
- ゴルフ部
- サーフィン部
- サッカー部
- 山岳部
- 少林寺拳法部
- 準硬式野球部
- 柔道部
- スキー部
- 水泳部
- ソフトテニス部
- 日本拳法部
- バドミントン部
- バレーボール部
- バスケットボール部
- フットサル部
- ボクシング部
- 洋弓部
- ヨット部
- ラグビーフットボール部
- 陸上競技部

## 文化クラブ

- 国際保健部
- 軽音楽部
- 写真部
- ユースホステルクラブ
- アナログレコード研究部
- ダンス部
- モーターサイクル部
- 天文部

## 同好会

- MDEC同好会
- 社会交流同好会
- 釣り同好会
- 戦史研究会
- e-Sports同好会
- 映像制作同好会

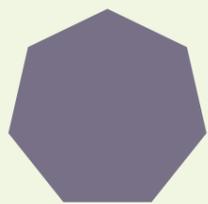
## 学生インタビュー

## ダンスを通して

私が所属している松戸歯学部のダンス部「Remedy」は、毎週日曜日に練習を行っています。メインのイベントが文化祭なので、6月になると文化祭に向けて本格的にチーム練習を開始します。初心者も多いので、ダンス歴に関係なく皆で楽しみながら活動している部活です。私がダンスに興味を持ったのはK-popアイドルの影響です。私自身ダンスは未経験だったのですが、ダンス部に入ってから、関東医療系大学ダンス

連盟にも所属し、K-popに限らず様々なジャンルのダンスに挑戦しています。もちろん初めはとても緊張しましたが、今でもします。ですが発表の場があることで、度胸や自信も付き、普通に生活しては得られない経験をすることができました。ダンスは初心者でもやる気があれば成長のチャンスがたくさんあるので、もし少しでも興味があればぜひ挑戦してみたいです。

ダンス部 部長 青砥 世来さん



インフォメーション

INFORMATION



# 入試情報



\*詳細はこちらをご参照ください。

## ■ 一般選抜 N 全学統一方式・A 個別方式

	N 全学統一方式【第1期】	N 全学統一方式【第2期】	A 個別方式【第1期】	A 個別方式【第2期】
募集人員	8名	2名	42名	10名
出願期間	令和7年1月6日(月)～1月22日(水) インターネット出願, 郵送	令和7年1月6日(月)～2月25日(火) インターネット出願, 郵送	令和7年1月6日(月)～1月22日(水) インターネット出願, 郵送	令和7年1月6日(月)～2月12日(水) インターネット出願, 郵送
選考日	令和7年2月1日(土)	令和7年3月4日(火)	令和7年2月4日(火)	令和7年2月25日(火)
合格発表*1	令和7年2月14日(金)	令和7年3月14日(金)	令和7年2月14日(金)	令和7年3月5日(水)
入学手続締切日	令和7年2月21日(金)	令和7年3月25日(火)	令和7年2月21日(金)	令和7年3月18日(火)
二段階最終入学手続日	令和7年3月11日(火)	—	令和7年3月11日(火)	—
出願資格・出願書類	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。			
入学検定料	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。			
選考方法	①学力検査 【外国語】「英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII・英語コミュニケーションIII・論理・表現I, 論理・表現II, 論理・表現III」(60分/100点満点) 【数学・理科】「数学I・数学II・数学A(図形の性質, 場合の数と確率)・数学B(数列)・数学C(ベクトル)」, 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」のうちから1科目選択。上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は, 高得点の科目を合否判定に使用する。ただし, 医学部を併願している, 「理科」を合否判定に使用する場合は, 第1解答科目のみを合否判定に使用する。(60分/100点満点) ②書類審査 (出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」, 「出席状況」) 上記の結果を基に, 総合的に選考する。 ※学力検査の成績の評価点が同点の場合, 書類審査の評価点が高い者を優先とする。		①学力検査 【外国語】「英語コミュニケーションI・英語コミュニケーションII・英語コミュニケーションIII」(60分/100点満点) 【数学・理科】「数学I・数学II」, 「物理基礎・物理」, 「化学基礎・化学」, 「生物基礎・生物」のうちから1科目選択。(60分/100点満点) ②書類審査 (出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」, 「出席状況」) ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に, 総合的に選考する。ただし, ③・④には, 各々最低基準を設け, 基準に達しない場合は, 総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合, 学力検査の評価点の高い者を優先とし, 更に同点であった場合は面接の評価点, また, 更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。 ※学力検査の解答方式は記述式。	

\*1. 午後1時にインターネットによる合否案内。

## ■ 一般選抜 C 共通テスト利用方式(大学入学共通テストを利用した試験) ※個別学力検査等は実施しません。

	【第1期】	【第2期】
募集人員	3名	2名
出願期間	令和7年1月6日(月)～1月24日(金) インターネット出願, 郵送	令和7年1月6日(月)～2月14日(金) インターネット出願, 郵送
選考日	大学入学共通テスト 令和7年1月18日(土)・19日(日)	
合格発表*1	令和7年2月14日(金)	令和7年3月5日(水)
入学手続締切日	令和7年2月21日(金)	令和7年3月18日(火)
二段階最終入学手続日	令和7年3月11日(火)	—
出願資格・出願書類	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。	
入学検定料	「一般選抜募集要項」に記載のとおり。	
試験科目	【数学】「数学I」, 「数学I, 数学A」, 「数学II, 数学B, 数学C」のうちから1科目選択。(100点満点) 【理科】「物理」, 「化学」, 「生物」のうちから1科目選択。(100点満点) 【外国語】「英語」(100点満点) 【書類審査】(出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」, 「出席状況」) ※上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は, 高得点科目を合否判定に使用。 ※「理科(基礎を付していない科目)」において2科目以上受験した場合は, 第1解答科目のみを合否判定に使用。 ※【外国語】「英語」においては, リスニングの成績は利用しない。 ※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し, 合否判定する。 ※大学入学共通テストの成績の評価点が同点の場合, 書類審査の評価点が高い者を優先とする。	【国語・数学・理科】「国語(近代以降の文章)」, 「数学I」, 「数学I, 数学A」, 「数学II, 数学B, 数学C」, 『物理基礎/化学基礎/生物基礎/地学基礎(「地学基礎」を除く3科目のうちからいずれか2つの出題範囲を選択解答)』, 「物理」, 「化学」, 「生物」のうちから1科目選択。(100点満点) 【外国語】「英語」(100点満点) 【書類審査】(出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」, 「出席状況」) ※上記選択科目を指定科目数以上受験した場合は, 高得点科目を合否判定に使用。 ※「理科(基礎を付していない科目)」において2科目以上受験した場合は, 第1解答科目のみを合否判定に使用 ※【国語】については, 大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し, 合否判定する。 ※【外国語】「英語」においては, リスニングの成績は利用しない。 ※大学入学共通テストの配点を上記の配点に換算し, 合否判定する。 ※大学入学共通テストの成績の評価点が同点の場合, 書類審査の評価点が高い者を優先とする。

\*1. 午後1時にインターネットによる合否案内。

## ■ 総合型選抜

	【第1期】	【第2期】	【第3期】
募集人員	13名	4名	3名
出願期間	令和6年9月2日(月)～10月7日(月) インターネット出願*1	令和6年11月5日(火)～12月6日(金) インターネット出願*1	令和7年2月3日(月)～3月10日(月) インターネット出願*1
選考日	令和6年10月19日(土)	令和6年12月14日(土)	令和7年3月15日(土)
合格発表*2	令和6年11月1日(金)	令和6年12月20日(金)	令和7年3月21日(金)
入学手続締切日	令和6年11月8日(金)	令和7年1月10日(金)	令和7年3月28日(金)
出願書類	①出願確認票 ②出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) ③出願資格を証明する書類(高等学校, 中等教育学校の卒業(見込)者, 高等専門学校第3年次, 在外教育施設の当該課程の修了(見込)者は出身学校の調査書)		
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。		
出願資格	次のいずれかに該当する者。 ●高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者。 ●通常の課程による12年の学校教育を修了した者(高等専門学校第3年次修了者等)及び令和7年3月修了見込みの者。 ●高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者。		
出願要件	次の要件を全て満たす者。 ①本学部を第一志望とし, 合格した場合には必ず入学することを確約できる者。 ②アドミッション・ポリシー及び教育内容等を理解した上で, 出願ができる者。		
選考方法	①基礎学力検査(60分/100点満点) ※英語, 数学, 国語(古文, 漢文を除く) ※高校を卒業するに当たっての基本的な知識レベル ②小論文[500字～600字](60分/50点満点) ③面接(50点満点) 上記の結果を基に, 総合的に選考する。ただし, ②及び③には各々最低基準を設け, 基準に達しない場合は, 総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合, 基礎学力検査の評価点の高い者を優先とし, 更に同点であった場合は面接の評価点が高い者を優先とする。		

\*1. 出願書類を「松戸歯学部教務課」宛 郵送又は直接持参にて提出すること。休日は郵送のみ。\*2. 午後1時にインターネットによる合否案内。

## ■ 校友枠選抜

	【第1期】	【第2期】
募集人員	7名	3名
出願期間	令和6年8月20日(火)～8月30日(金) インターネット出願*1	令和6年11月18日(月)～12月6日(金) インターネット出願*1
選考日	令和6年9月7日(土)	令和6年12月14日(土)
合格発表*2	令和6年9月13日(金)	令和6年12月20日(金)
入学手続締切日	令和6年9月20日(金)	令和7年1月10日(金)
出願書類	①出願確認票 ②日本大学校友会発行の「出願資格確認書」 ③出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) ④出身学校の調査書等	
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。	
出願資格	日本大学校友会が発行した「出願資格確認書」を有し, 次のいずれかに該当し, 合格した場合, 本学部に入学することを確約できる者。 ●高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者。 ●通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者。 ●高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者。	
選考方法	①書類審査(出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」, 「出席状況」) ②学力検査(60分/100点満点) ※英語, 数学, 国語(古文, 漢文を除く) ※高校を卒業するに当たっての基本的な知識レベル ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に, 総合的に選考する。ただし, ③・④には, 各々最低基準を設け, 基準に達しない場合は, 総合得点が合格最低点を超えていても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合, 学力検査の評価点の高い者を優先とし, 更に同点であった場合は面接の評価点, また, 更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	

\*1. 出願書類を「松戸歯学部教務課」宛 郵送又は直接持参にて提出すること。休日は郵送のみ。\*2. 午後1時にインターネットによる合否案内。

# 入試情報

## ■ 学校推薦型選抜

	指定校制	公募制
募集人員	7名	3名
出願期間	令和6年11月1日(金)～11月8日(金) インターネット出願、郵送・窓口 <sup>*1</sup>	
選考日	令和6年11月16日(土)	
合格発表 <sup>*2</sup>	令和6年12月2日(月)	
入学手続締切日	令和6年12月9日(月)	
出願書類	①出願確認票 ②出身学校の調査書 ③出身学校長の推薦書	
推薦基準及び出願資格	<p>次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 本学部指定の高等学校又は中等教育学校を令和7年3月卒業見込みの者。</li> <li>● 本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学者を確約できる者。</li> <li>● 調査書の「全体の学習成績の状況」が指定校別に定めた値以上の者。</li> </ul>	<p>次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 全日制高等学校又は中等教育学校(共に普通科・理数科、又は本学部がこれに準ずると認めた学科)を令和6年3月卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者。</li> <li>● 本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学者を確約できる者。</li> <li>● 調査書の「全体の学習成績の状況」が3.3以上の者。</li> </ul>
選考方法	①書類審査(出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」,「出席状況」) ②小論文[500字～600字](60分/50点満点) ③面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、②・③には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超過していても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、面接の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	

\*1. 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。\*2. 学校長へ発送。午後1時にインターネットによる合否案内。

## ■ 学校推薦型選抜(付属高等学校等)

	基礎学力選抜	付属特別選抜	国公立併願方式※新設	追加募集
募集人員	18名	2名	1名	募集人員は、基礎学力選抜・付属特別選抜及び国公立併願方式の選考の結果、募集人員を充足しなかった部分の人数を上限とする。
出願方法	在籍する高等学校等の指示に従うこと。			
出願受付日	令和6年11月1日(金)[高校→本部]		令和6年11月1日(金)[高校→本部]	令和6年12月9日(月)[高校→本部]
選考日	令和6年11月16日(土)		令和6年11月16日(土)	令和6年12月14日(土)
合格発表 <sup>*1</sup>	令和6年12月2日(月)		令和6年12月2日(月)	令和6年12月20日(金)
入学手続締切日	令和6年12月9日(月)		令和7年3月25日(火)	令和7年1月10日(金)
出願書類(本部より)	①出願確認票 ②出身学校の調査書	①出願確認票 ②出身学校の調査書 ③出身学校長の推薦書 ④志望理由書	①出願確認票 ②出身学校の調査書 ③国公立大学出願予定届出書	①出願確認票 ②出身学校の調査書
推薦基準及び出願資格	<p>次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の上位8割以内である者。</li> <li>● 日本大学付属高等学校等を令和7年3月卒業見込みの者。</li> <li>● 本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学者を確約できる者。</li> </ul>	<p>次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本大学付属高等学校等を令和7年3月卒業見込みの者。</li> <li>● 日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の上位6割以内である者。</li> <li>● 本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学者を確約できる者。</li> </ul>	<p>次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本大学付属高等学校等を令和7年3月卒業見込みの者。</li> <li>● 日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の上位8割以内である者。</li> <li>● 本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学者を確約できる者。</li> </ul>	<p>次の要件を全て満たす者で、学校長が責任をもって推薦する者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 日本大学付属高等学校等基礎学力到達度テスト(理系)の標準化点の順位が全体の上位8割以内である者。</li> <li>● 日本大学付属高等学校等を令和7年3月卒業見込みの者。</li> <li>● 本学部で歯学の専攻を強く希望し、合格した場合、本学部に入学者を確約できる者。</li> </ul>
選考方法	●面接(50点満点) 面接の結果には、最低基準を設け、基準に達しない場合は、不合格とする。	①書類審査(出身学校調査書等「全体の学習成績の状況」,「出席状況」) ②学力検査(60分/100点満点)※英語、数学、国語(古文、漢文を除く) ※高校を卒業するに当たっての基本的な知識レベル ③小論文[500字～600字](60分/50点満点) ④面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、③・④には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超過していても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点、また、更に同点であった場合は書類審査の評価点が高い者を優先とする。	●面接(50点満点) 面接の結果には、最低基準を設け、基準に達しない場合は、不合格とする。	

\*1. 学校長へ発送。午後1時にインターネットによる合否案内。

## ■ 編入学試験(募集年次2年次)

	【第1期】	【第2期】
募集人員	若干名	若干名
出願期間	令和6年11月1日(金)～11月8日(金) 郵送・窓口 <sup>*1</sup>	令和7年2月3日(月)～3月10日(月) 郵送・窓口 <sup>*1</sup>
選考日	令和6年11月16日(土)	令和7年3月15日(土)
合格発表 <sup>*2</sup>	令和6年12月2日(月) <sup>*2</sup>	令和7年3月21日(金) <sup>*2</sup>
入学手続締切日	令和6年12月9日(月)	令和7年3月28日(金)
出願書類	①入学志願票 ②編入学試験出願理由書・経歴書(本学部所定用紙) ③最終出身学校の成績証明書 ④最終出身学校の在学期間を証明する書類(在学証明書・卒業証明書・退学証明書等)	
出願資格	<p>次のいずれかの要件を満たす者。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 出願時において同一の大学に1年以上在学し、35単位以上を修得した者。ただし、単位修得見込みの者を除く。</li> <li>● 大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者。</li> <li>● 短期大学を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者。</li> <li>● 高等専門学校(学校教育法第115条)を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者。</li> </ul>	
選考方法	<p>①学力検査(60分/100点満点)※英語、数学、国語(古文、漢文を除く)※高校を卒業するに当たっての基本的な知識レベル ②小論文[500字～600字](60分/50点満点) ③面接(50点満点) 上記の結果を基に、総合的に選考する。ただし、②・③には、各々最低基準を設け、基準に達しない場合は、総合得点が合格最低点を超過していても不合格とする。 ※総合得点が同点の場合、学力検査の評価点の高い者を優先とし、更に同点であった場合は面接の評価点が高い者を優先とする。</p>	

\*1. 休日は郵送のみ。受付窓口は日本大学松戸歯学部教務課。\*2. 本人へ発送。

## ■ 大学院入学試験(一般・社会人入試)要項

	入学試験(第1期)	入学試験(第2期)
募集人員	10名(定員の範囲内で社会人含む)	20名(定員の範囲内で社会人含む)
出願期間	令和6年8月19日(月)～8月30日(金)	令和7年1月20日(月)～1月31日(金)
選考日	令和6年9月7日(土)	令和7年2月15日(土)
合格発表	令和6年9月18日(水)	令和7年2月26日(水)
入学手続締切日	令和6年10月11日(金)	令和7年3月11日(火)
出願資格	<p>共通</p> <p>①大学における医学、歯学または修業年限6年の獣医学及び薬学を履修する課程を卒業した者または令和7年3月までに卒業見込みの者。②外国において学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、獣医学または薬学)を修了した者または令和7年3月までに修了見込みの者。③外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、獣医学または薬学)を修了した者または令和7年3月までに修了見込みの者。④わが国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国における18年の課程(最終の課程は医学、歯学、獣医学または薬学)を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者。⑤文部科学大臣の指定した者。⑥大学の医学を履修する課程、歯学を履修する課程、獣医学を履修する課程または薬学を履修する課程に4年以上在籍した者(これに準ずるものとして文部科学大臣が定める者を含む)であって、本大学の定める単位を優れた成績をもって修得したと認められた者。⑦本大学院において、個別の入学資格審査により、大学(医学、歯学、修業年限6年の獣医学及び薬学を履修する課程)を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに24歳に達する者。⑧その他、本研究科が特に認めた者。</p> <p>社会人</p> <p>官公庁、研究所、病院、歯科医院等にすでに勤務し、勤務成績が優秀であり、入学後もその職を有する者、または令和7年5月1日までに勤務予定の者。歯科医師臨床研修医制度における臨床研修歯科医は含まない。</p>	
備考	(1)出願資格②～⑧で出願する者は、あらかじめ本学松戸歯学研究科(教務課)まで問い合わせること。 (2)専攻学科目によっては歯科医師国家試験の合格が必要条件となるので、本学松戸歯学研究科(指導教授又は教務課)まで問い合わせること。	
出願書類	<p>共通</p> <p>①大学院入学志願票(本学所定の用紙) ②成績証明書 ③卒業証明書、または卒業見込証明書 ④研究計画書(関心をもつ分野、研究計画、将来の目標等を記載したもの)(本学所定の用紙) ⑤出願資格②～⑧で志願する者は上記書類の他に次の書類を提出すること。 (1)経歴書(本学所定の用紙) (2)自己推薦書(本学所定の用紙) (3)その他本大学院で定める書類 ※なお、出願後に本大学院が必要と認めた場合は、健康診断書の提出を求める場合がある。</p> <p>社会人</p> <p>①経歴書(本学所定の用紙) ②勤務先の承諾書(本学所定の用紙) ③勤務先等の所属長の推薦書(任意様式)</p>	
入学検定料	「募集要項」に記載のとおり。	
選考方法	学力検査：専門科目(50分/100点満点) 面接試験：①一般面接(50点満点) ②専門面接(50点満点)	

# 学費・奨学金情報

学費(令和7年度) ※諸会費含む

## ■ 松戸歯学部

	【1年次】		【2年次】		【3～6年次】	
	前学期 (入学手続時納入金)	後学期	前学期	後学期	前学期	後学期 <sup>*2</sup>
入学金	600,000円	—	—	—	—	—
授業料	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円	1,750,000円
施設設備資金	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円	400,000円
教育充実料 <sup>*1</sup>	1,000,000円	1,000,000円	500,000円	500,000円	—	—
後援会入会金	100,000円	—	—	—	—	—
後援会費	30,000円	—	30,000円	—	30,000円	—
校友会準会員費	10,000円	—	10,000円	—	10,000円	—
合計	3,890,000円	3,150,000円	2,690,000円	2,650,000円	2,190,000円	2,150,000円
学年合計	7,040,000円		5,340,000円		4,340,000円	

\*1. 一般選抜時の成績優秀者は初年度の教育充実料 200万円を減免する制度があります。\*2. 卒業年度の後学期には、上表のほかに校友会正会員費として別途 1万円徴収します。

## ■ 大学院松戸歯学研究科

【初年度】

	入学時納入金(前学期分)		後学期
	学内者 <sup>*1</sup>	学内者以外	
入学金	—	200,000円	—
授業料	350,000円	350,000円	350,000円
施設設備資金	—	500,000円	—
校友会準会員費	10,000円	10,000円	—
合計	360,000円	1,060,000円	350,000円

【2年目以降】

	前学期	後学期 <sup>*2</sup>
授業料	350,000円	350,000円
校友会準会員費	10,000円	—
合計	360,000円	350,000円

\*1. 「学内者」とは、日本大学を卒業した者または日本大学大学院を修了した者をいいます。  
\*2. 修了年度の後学期には、上表のほかに校友会正会員費として別途 1万円徴収します。

## 各種奨学金制度の紹介

本学部には充実した奨学金制度があります。学業成績・人物が優秀な学生や、経済的理由により修学が困難な学生に対し、様々な奨学金を給付・貸与しています。

### ■ 学内の奨学金制度

奨学金名	対象	条件	金額	募集時期 <sup>*1</sup>	種別
日本大学特待生	学部2年次生以上	学業成績・人物共に優秀な者(公募ではありません)。	甲種：授業料1年分相当額の半額及び図書費 乙種：授業料1年分相当額の半額	—	給付
松戸歯学部鈴木奨学金(第1種)	学部2～6年次生・大学院生	学業成績・人物ともに優れている者。	年額10万円	4～5月	
松戸歯学部鈴木奨学金(第2種)	学部・大学院生	経済的理由により学費の支弁が困難である学業成績・人物共に優秀な者。	年額24万円	5月	
松戸歯学部大竹奨学金	学部6年次生	学業・人物ともに優れた者、もしくは、課外活動において顕著な成果を収め学部等の発展に貢献したと認められる者。	年額10万円		
日本大学古田奨学金	大学院生	学業成績・人物共に優秀な者。	年額20万円	6月	
日本大学ロバート・F・ケネディ奨学金					
日本大学創立130周年記念奨学金(第2種)	学部生	経済的支援を必要とし、修学意志が堅固で学業成績及び人物が優良な者(外国人留学生を除く)。	年額30万円	6月	

### ■ 学外の奨学金制度

奨学金名	対象	条件	金額	募集時期 <sup>*1</sup>	種別
日本学生支援機構奨学金(第一種) <sup>*2</sup> [無利子]	学部・大学院生	特に優れた学生で、経済的理由により著しく修学困難な者。	学部生:2・3・4・5万4千円の中から選択(自宅通学)。2・3・4・5・6万4千円の中から選択(自宅外通学)。大学院生:8万円もしくは12万2千円。	4月	貸与
日本学生支援機構奨学金(第二種) <sup>*2</sup> [有利子]		第一種奨学金よりゆやかな基準によって選考された者。	学部生:2・3・4・5・6・7・8・9・10・11・12・16万円から選択。/大学院生:5・8・10・13・15万円から選択。		
日本学生支援機構奨学金(給付型) <sup>*2</sup>	学部生	収入が一定額以下であること(学業成績・学修意欲等に関する要件も満たす必要がある)。 ※給付型奨学金の対象となれば授業料・入学金も免除又は減額。	世帯収入に応じた3段階の基準で支援額が決定。		給付
民間企業提携教育ローン	学部・大学院生	詳細は学生課までお問い合わせください。		随時	給付・貸与
地方公共団体・各奨学財団奨学金		募集期間や内容は様々ですので、詳細は学生課掲示板にて随時お知らせします。			

\*1. 募集時期は目安です。正式な期限等については、学生課掲示板にてお知らせいたします。\*2. 独立行政法人日本学生支援機構(IASSO)のホームページを御覧ください。 <https://www.jasso.go.jp>

## Event Information イベントインフォメーション

オープンキャンパス	開催日	6/2(日)	7/21(日)	8/10(土)	開催日時等は変更となる場合があります。必ず事前にホームページを御覧ください。
		10/13(日)	10/14(月[祝])		
キャンパスツアー	開催日	4/13(土)	5/11(土)	9/14(土)	※松戸歯学部のオープンキャンパス及びキャンパスツアーのお申し込みなどに関する詳しい情報はホームページを御覧ください。
		11/9(土)	12/14(土)	2025/1/25(土)	



## Access 交通案内



- 松戸駅(JR常磐線快速・東京メトロ千代田線直通各駅停車・新京成電鉄)：西口2番バス乗り場(京成バス)「日大歯科病院」行きバス終点下車(バス約15分)
- 南流山駅(JR武蔵野線・つくばエクスプレス)：北口バス乗り場(京成バス)「松戸駅」行きバス「日大歯科病院」下車(バス約20分)もしくは「日大病院入口」下車(バス約15分、徒歩約5分)
- 北松戸駅(JR常磐線各駅停車)から徒歩約20分